



ビューティフル・キャンパス・プロジェクト

附属特別支援学校

大学と附属特別支援学校との「癒し」連携チャレンジ！

和歌山大学

本校は、地域に開かれ、地域に貢献できる特別支援学校を目指しています。その一環として、日頃の学習では、和歌山の歴史や産物、文化遺産について自主的に学び、「和歌山・地域を知る」ことから取り組みを始めています。

設置者である和歌山大学の附属学校として、教職員はもとより、児童生徒や保護者も大学への深い愛着を持ち、「貢献したい」「役に立ちたい」という思いを強く抱いています。地域や大学に貢献することで、喜んでいただける体験が自己有用感を高め、「生きる力」へとつながっていきます。

大学にとっても、多様な児童生徒が在籍する特別支援学校との連携は、「癒し」「美化」「インクルーシブ」「華やかさ」「ボランティア精神」など、さまざまな価値につながる貴重な機会と捉えられています。

附属特別支援学校の活動の場を広げ、キャンパス環境の整備とともに環境意識の向上を図る本プロジェクトは、全国的にも稀有なチャレンジです。

令和6年度より、高等部作業班チームが大学キャンパスに赴き、教育学部棟や教室、図書館の窓清掃、花植え等に取り組んでいます。また令和7年度より中学部と高等部作業班チームが校内で制作した花の種から育てた花の苗等プランターを持参し、大学構内での花植えや手入れ、畑の整備、落ち葉清掃などにも取り組みました。こうした活動を通じて、多くの方々から温かい声をいただき、生徒たちの自己肯定感も大きく育まれました。今後も活動を継続し、大学との連携をさらに深めながら、地域に根ざした特別支援教育のあり方を探求してまいります。

ビューティフルキャンパスプロジェクトの主な活動内容

- ・ 児童生徒による、プランターへの花苗の寄せ植え作業
- ・ 枯れた花の植え替えを随時実施（通称「プランタードック」）
- ・ ビルメンテナンス班による窓清掃作業（大学からの依頼で実施）
- ・ エコファーム班による清掃・美化活動、花畑づくり、「花いっぱいプランター作戦」への取組
- ・ 窓ガラスなどへのオリジナル装飾アートの制作
- ・ 花の美しさや香りがもたらす、癒しの空間づくり企画
- ・ 生徒会による自主的な活動企画

ビューティフルキャンパスプロジェクトの活動場所と効果

- ・ 附属支援学校で作った花苗と花植えプランターを大学各所へ設置
 - ・ 教育学部棟等前の花壇の花の植え替えやバス停から上の階段付近に花植えプランターを設置
 - 学生、職員、来客への癒しとおもてなし
 - ・ 教育学部棟や教室、図書館、学生会館、コンビニ等の窓の清掃
 - ・ キャンパス美化・環境（落ち葉清掃、落ち葉の持ち帰り）
 - 清潔で美しい大学肥料にするSDGs活動
- 附属特別支援学校のぼり（旗）による活動のPR → 啓発

大学へ貢献！
役に立った！
自己肯定感 up！
特別支援学校のPR！

和附特への興味
癒し空間の拡大



活動内容はこちらをクリックしてご覧ください

（ホームページのお知らせに飛びます）